

教科名	地歴	学年	2 学年	教科書 補助教材等	山川出版社 詳説日本史 第一学習社 最新日本史図表
科目名	日本史B	単位数	2		
科目担当者	堀内 ひろ子				
科目の 到達目標	日本古代～近現代の基本事項を理解し、現代社会の抱える課題との関わりについて考察するとともに、客観的かつ公正な判断力を養う。				
学期	月	指導内容	主な指導目標	予定時数	備考
一 学 期	4	近現代の復習 旧石器時代～ヤマト政権	近現代史の基礎知識及び歴史の学び方を確認する。 原始から農耕社会の始まりについて理解する。	6	諸資料を活用した学習にも取り組む
	5	律令国家の形成	律令国家の形成と特色について理解する。	8	諸資料を活用した学習にも取り組む
	6	奈良時代の政治と社会	奈良時代の貴族の台頭と天平文化について理解する。	8	諸資料を活用した学習にも取り組む
	7	期末考査 古代社会の特色と文化	1学期のまとめ	3	諸資料を活用した学習にも取り組む
二 学 期	9	平安王朝の形成	摂関政治の展開について理解する。	8	諸資料を活用した学習にも取り組む
	10	荘園の発達	荘園公領制の発達と政治の関わりについて理解する。	8	諸資料を活用した学習にも取り組む
	11	武氏の台頭	地方政治と源平の台頭について理解する。	8	諸資料を活用した学習にも取り組む
	12	期末考査 平安期の文化と社会の特色	2学期のまとめ	4	諸資料を活用した学習にも取り組む
三 学 期	1	封建社会の特色	武家政権の特色、古代と中世の相違に着眼し理解する。	6	諸資料を活用した学習にも取り組む
	2	中世社会の展開	鎌倉～室町幕府への転換と社会の変化について理解する。	8	諸資料を活用した学習にも取り組む
	3	学年末考査 近世～近現代の日本	1年間のまとめ 中世から近世及び近現代につながる歴史的展開を理解する。	3	諸資料を活用した学習にも取り組む
年間授業 時間数計	70	1学期 25	2学期 28	3学期 17	
学習上の留意点	各内容において興味関心を引き出し、基本的事項を理解し考察する力を養う。				
評価の観点				評価方法	
関心・意欲・態度	歴史への関心をもち、現代社会との関わりについて考察し探究しようとする。			意欲、理解度、考査得点などを総合的に評価する。	
話す・聞く能力	現代社会の課題における歴史的背景を見出し、研究する過程を通して公正かつ客観的に判断する力を育てる。				
読む能力	探究心をもち調査研究する能力を備えている。				
知識・理解	基本事項を理解し事項を関連付けて考察する力を備えている。				